

【日本医科大学付属病院 がん化学療法レジメン】

《無断転載禁止》

レジメン番号： ESOP-113

対象疾患	レジメン名称	コース期間	総コース数	適応	催吐 リスク	根拠
食道がん (扁平上皮) (PD-L1陽性)	Pembrolizumab 単剤	21日間 or 42日間	規定なし	☒ 進行/再発 ☐ 術後補助化学療法 ☐ 術前補助化学療法 ☐ 放射線併用化学療法 ☐ その他	最小度	N Engl J Med 375: 1823-33, 2016 Lancet 387: 1540-50, 2016

	薬品名	投与量	投与経路	投与時間	Day																								
					1	2	～												20	21									
【3週間隔で投与する場合】																													
①	生理食塩液	50mL	点滴静注	5分	↓																								
②	キイトルーダ [®] 生理食塩液	200mg/body 50mL	点滴静注	30分	↓																								
③	生理食塩液	50mL	点滴静注	5分	↓																								
	薬品名	投与量	投与経路	投与時間	Day																								
					1	2	～																		41	42			
【6週間隔で投与する場合】																													
①	生理食塩液	50mL	点滴静注	5分	↓																								
②	キイトルーダ [®] 生理食塩液	400mg/body 50mL	点滴静注	30分	↓																								
③	生理食塩液	50mL	点滴静注	5分	↓																								

<注意事項/備考>

- ✓ Pembrolizumab：0.2または0.22 μ mのインラインフィルターを用いて投与
- ✓ 間質性肺炎：初期症状は息切れ、発熱、咳嗽（空咳）など。胸部X線検査やSPO2モニタリング等で定期的にモニタリングを
- ✓ 血糖上昇：口渇、多飲、多尿、倦怠感などの症状に注意。来院時には血糖の測定を
- ✓ 大腸炎、下痢：持続する腹痛、嘔吐、下痢、血便など
- ✓ 甲状腺機能障害：投与中は定期的にTSH、FT3、FT4などの検査を
- ✓